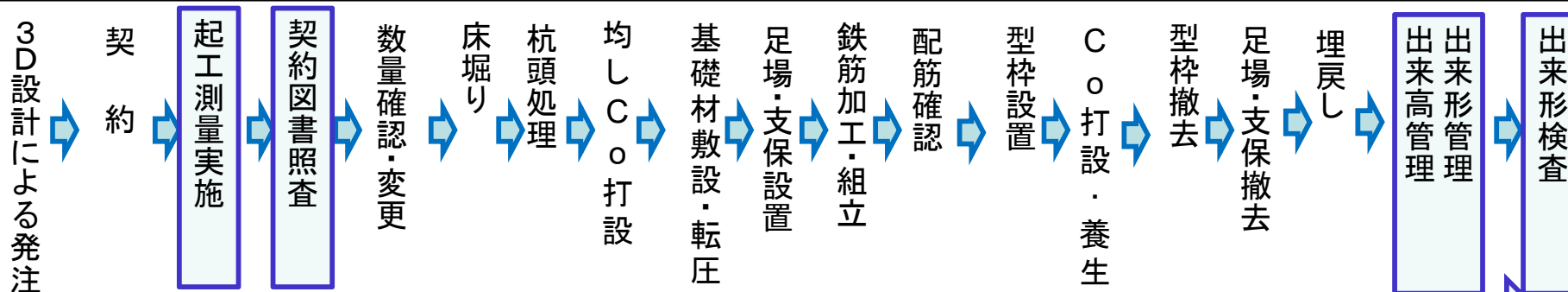


【3次元計測技術を用いた出来形管理要領(構造物工編)(試行案)】

- ・3次元計測技術を用いることで、広範囲に計測が行えるため、計測作業の効率化
- ・高所での計測作業の省力化による作業の安全性向上
- ・出来形・出来高を点群等電子データを利用してデスクトップ上で安全・迅速に実施
- ・R3年度に各地整で試行し、試行結果を踏まえて出来形管理要領としてとりまとめ、R4年度から本格導入する。

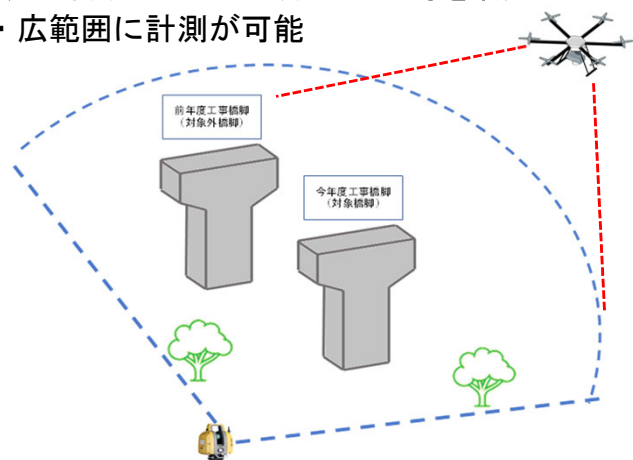


※フローで囲みが無いものは従来手法を想定

ICT構造物工(橋脚・橋台)

○起工計測にレーザスキャナやUAV等を活用

- ・広範囲に計測が可能



○出来形・出来高計測はレーザスキャナ、ノンプリTS等を活用

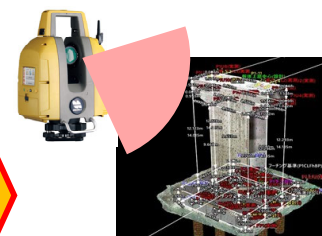
- 計測データを活用して、デスクトップ上で計測を実施



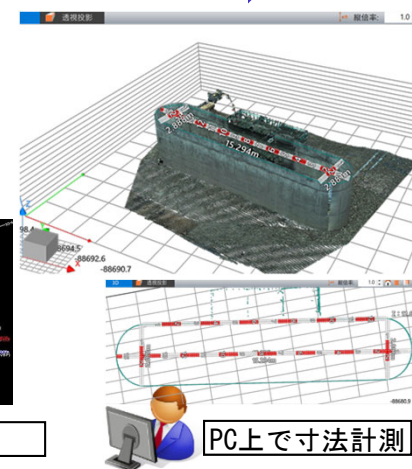
従来施工
(高所での測量)



書面を電子化
して検査



TLSで点群測量



PC上で寸法計測

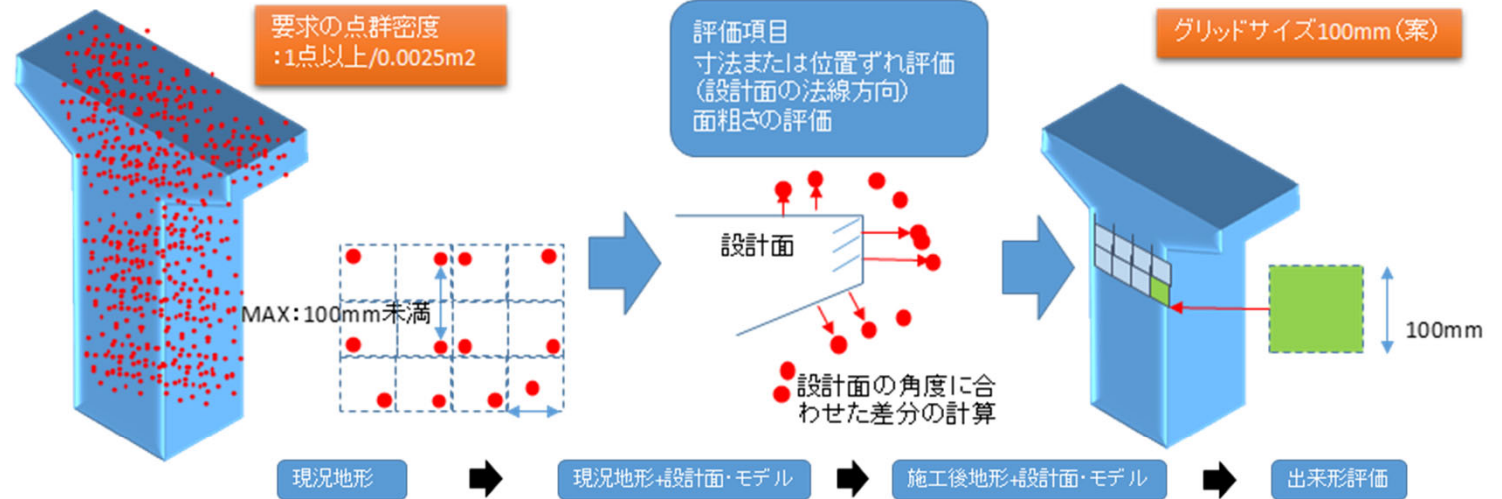
・ICT施工工種拡大に伴い策定した基準

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(橋脚・橋台編)(試行)

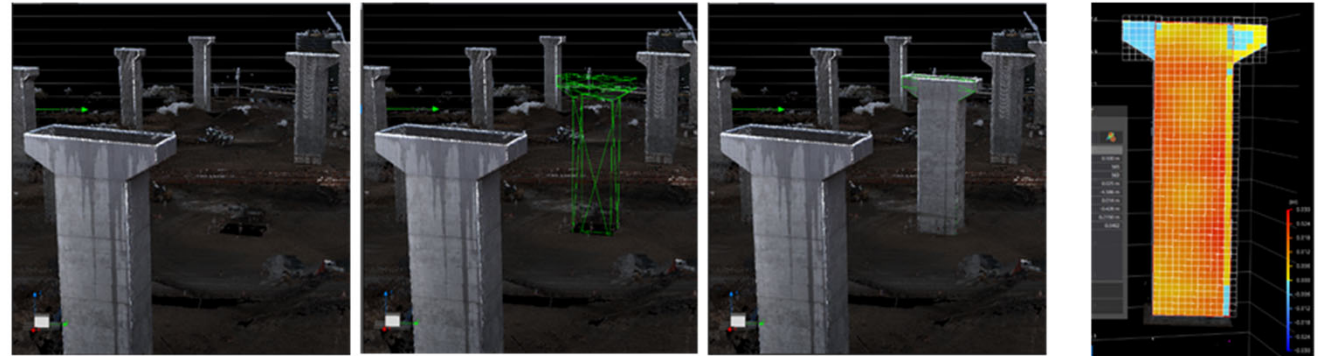
3次元計測技術を用いた出来形管理の監督・検査要領(橋脚・橋台編)(試行)

R3年度に試行を実施

- ・3次元出来形計測費用と従来の出来形管理費用との比較検証
- ・面管理による出来形管理の更なる効率化や維持管理への活用を検証



- ・点群データを用いた構造物の位置および出来形管理を試行し検証



- ・面管理で取得できる写真データを活用したひび割れ調査を試行し検証

